

平成24年度
名古屋大学大学院工学研究科
計算理工学専攻博士課程(前期課程)
入学試験問題

専門部門

以下の注意をよく読みなさい。

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはならない。
2. 答案用紙は、予備1枚を含めて合計2枚ある。
 - (1) 解答する問題番号を記載の上、罫線が印刷された答案用紙1枚に解答せよ。
 - (2) 予備の答案用紙を下書き用紙として使用してよい。
3. 答案用紙には氏名を記入してはならない。
4. 問題用紙、答案用紙(予備を含む)はすべて回収するので、持ち帰らないこと。

問題は次のページから始まる。
このページは、下書きに用いてよい。

小論文

以下の(1)および(2)の両方に解答せよ。ただし、これら二つの問題は等しい配点で評価されるため、片方の問題に時間をかけ過ぎないように注意すること。また、論理展開力を重視して採点するので、そのことに留意して論述しなさい。

- (1) コンピュータを用いて、従来と比べて飛躍的に大きな規模のデータを扱うことにより、有意義な情報を抽出しようとする新しいサイエンスが注目されている。あなたの関心のある分野における大規模なデータについて説明し、その大規模なデータを、どのように集め、保管し、整理し、分析すれば、有意義な情報を引き出せるかについて論じなさい。
- (2) 研究に臨む姿勢として、以下のような立場が考えられる。
 - A. 「世界一」のような相対的優位性を目指すことを優先すべきである。
 - B. オリジナリティを追求することを優先すべきである。
 - C. A. と B. 以外に優先すべきことがある。
 - D. 上の3つのうち複数を同時に追求すべきである。

これらのうち、あなたの立場に最も近いものを選び、あなたが関心を持っているコンピュータと関係した分野（研究予定の分野である必要はない）における具体的な事例に言及しながら、そのような立場をとることが望ましいと考える理由を説明しなさい。